

日常生活の援助技術（2年次前期）

人が生活するのに必要な日常生活行動を支援する、つまり、食べる、排泄する、活動・休息するといった生理的欲求が満たされるよう、さらには適切な環境と身体の清潔・衣生活といった安全で人間らしい生活を営む上での条件を整えるように援助することは看護が担う独自の重要な役割となります。本科目においては、講義、演習を通して、この日常生活行動を支援するための基礎的知識と具体的援助方法を学びます。



**生活環境調整
に関する技術**

(ベッドメイキング、
リネン交換)

観察(アセスメント)の基盤となる技術

(フィジカルアセスメント
バイタルサイン)



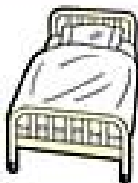
主な教育内容

日常生活の基盤となる援助技術

(移動/体位変換、身体
の清潔、衣生活)

生理的ニーズの充足に関する技術

(食事、排泄、
活動、休息)



診療の補助技術(2年次後期)

患者さんの診療の補助を中心とした技術には、与薬、注射の技術、創傷ケアなど、侵襲性の高い高度な技術となります。また呼吸状態や循環状態という患者さんの症状に対する援助技術、また安全を基盤とした技術も含まれます。注射の技術など侵襲の伴う技術は、医療用具を使用し、対象にはシミュレーションモデルを活用し、演習を通して学びます。



感染防止に関する技術

(未滅菌手袋、マスク、防護服着用)

呼吸、循環を整える技術

(酸素吸入、吸引)



手洗い



主な教育内容

与薬の技術 検体検査・生体情報モニターの技術

(注射、採血)

創傷管理の技術

(無菌操作、滅菌手袋の装着、包帯法)

